

【テーマ4】 団体名 和歌山大学

「教員育成指標に連動した体系的現職教員研修プログラム開発」

調査の概要

◆課題認識

教員構成のアンバランス等の要因から

- ・校内の学びのサイクル成立が難しい
- ・校内研修が活性化しない
- ・教育委員会も学校支援等で多忙

◆調査研究の目的

- ・教育委員会と有機的に連携し、大学の人的、知的、物的資源を有効に利用することで、教員育成指標に連動した研修プログラムを体系化し、質の向上を図る。

◆調査研究の方法

- ・研修プログラムの体系化
- ・学びの軌跡の可視化・実感化

◆調査研究校並びに連携教育委員会

- ・和歌山市立藤戸台小学校、松江小学校、高松小学校、砂山小学校、有功東小学校、西浜中学校、日進中学校、楠見中学校、紀之川中学校
(以上初任者研修協力校9校)
- ・和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、岩出市教育委員会、紀の川市教育委員会、海南市教育委員会、田辺市教育委員会

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①ポイントA

・研修プログラムの体系化及び開発

これまで単発的であった教員研修を学びの継続が意識できる体系的なものにするため、教員育成指標に基づいた研修プランを計画・開発した。

②ポイントB

・研修プログラムの実践・検証

これまで各教育委員会が主催・実施していた教員研修の一部を担い、「出前講座」として本学教員が研修を行った。また、教育委員会との連携・連動により新たな教員研修の方法・内容を検討中である。

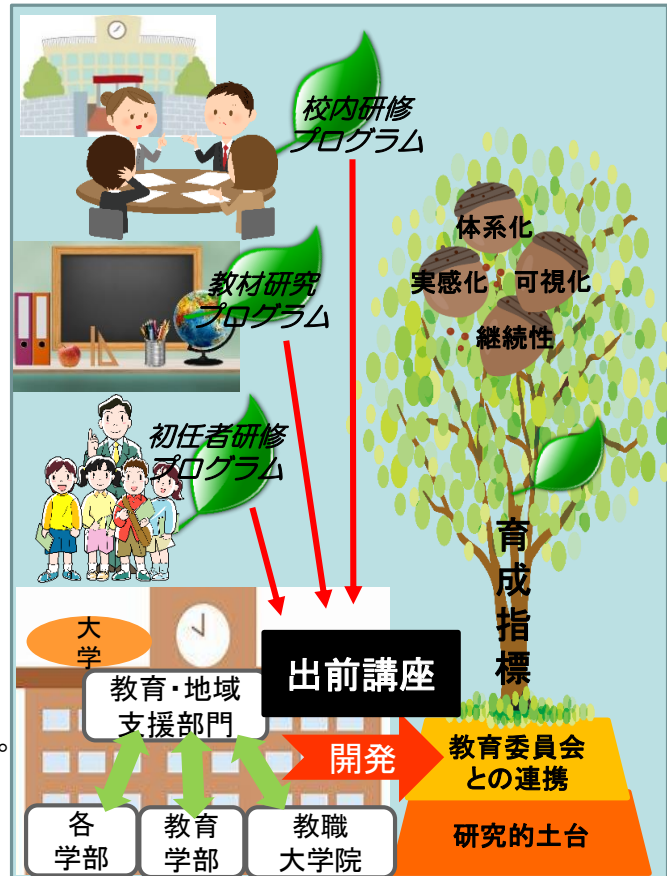
③ポイントC

・初任者研修プログラムの改善と拡大

4年間の初任者研修プログラムで得た知見を基に、その内容の改善や今後の受講対象者の拡大を見据えたカリキュラムの作成を行った。

◆成果

- ・研修プログラムとして新たに9講座を開発した。
- ・依頼された出前講座は9件、教育委員会主催の教員研修の他、管理職研修や学校の現職教育等のべ207名の教員が講座を受講した。
- ・参加者の多くが「次回も参加したい」と回答。



今後の課題

◆「教員育成指標」に基づいた研修プログラムのさらなる整備

- ・育成指標のキャリア段階や資質・能力に適合した研修プログラムの作成と実施
- ・和歌山市教育委員会との連携による初任者研修の拡大と実践